

令和2年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	人道救援物資備蓄経費			担当部局庁	国際平和協力本部事務局			作成責任者				
事業開始年度	平成9年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	-			参事官 山崎 速人				
会計区分	一般会計											
根拠法令(具体的な条項も記載)	国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律(第30条)			関係する計画、通知等	-							
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費							
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律(平成4年法律第79号。以下「国際平和協力法」という。)に基づき、国際連合平和維持活動、人道的な国際救援活動、国際的な選挙監視活動及び国際連携平和安全活動に対し、適切かつ迅速な物資協力を行うことを目的とする。											
事業概要(5行程度以内。別添可)	国際連合等から国際連合平和維持活動、人道的な国際救援活動、国際的な選挙監視活動及び国際連携平和安全活動への物資協力の要請を受けた場合、迅速に対応できるよう人道救援物資等の調達及び備蓄(物資の保管・管理)等の業務を実施している。											
実施方法	直接実施											
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	平成29年度	184	30年度	168	令和元年度	117	2年度	92	3年度要求	262
		補正予算	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		計	184	168	117	92	262					
	執行額	59	59	141								
	執行率(%)	32%	35%	121%								
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	32%	35%	121%								
	令和2・3年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由							
国際平和協力業務旅費		89	259	「新型コロナウイルス対策関連要望額」108								
国際平和協力業務旅費		3	3									
計		92	262									
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度			
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	-			
	-	-	目標値	-	-	-	-	-	-			
	-	-	達成度	%	-	-	-	-	-			
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-											
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載										チェック		
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と平成29～令和元年度の達成状況・実績							
	国際連合等からの要請を受け実施するものであるため。	我が国が実施した物資協力に対する国際連合等の評価。 令和元年度に南スーダンで国際連携平和安全活動を行っている政府間開発機構(IGAD)から要請を受け物資協力を実施した。 平成29、30年度は実績なし。										
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 2年度	目標最終年度 -年度			
	外交に関する世論調査における「日本の果たすべき役割」で前年度設問平均以上の回答を得る。	日本の果たすべき役割で「人的支援を含んだ、地域情勢の安定や紛争の平和的解決に向けた取組を通じた国際平和への貢献」と回答した割合。	実績	力所	59.6	58.8	60	-	-			
			目標値	力所	37.8	37.4	37.7	37.8	-			
			達成度	%	100	100	100	-	-			

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込
	備蓄物資を使用した物資協力の回数	活動実績	力所	0	0	1	-	-
		当初見込み	力所	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	
	X(執行額)÷Y(物資協力回数)	単位当たりコスト	円	-	-	1		
		計算式	/		58,719,577/0	59,275,730/0	131,016,459/1	

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	23 国際平和協力業務等の推進							
	施策	64 国際平和協力業務等の推進							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		-	実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
	国際平和協力業務等に対する国連、現地政府等の評価。	肯定評価(年度ごとの目標)	令和元年度	国際連合を中心とした国際平和のための努力に積極的に寄与すること。					
				施策の進捗状況(実績)					
	我が国の国際平和協力業務等に対して国連、現地政府等から高い評価を得ている。								
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
国際連合等の要請に基づき、人道的な国際救援活動をはじめとした物資協力を迅速に実施するため、基本的な人道救援物資の備蓄を行っている。国際連合を中心とした国際平和のための努力に積極的に寄与するため、引き続き、本事業を推進していく。									

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	政府広報室で実施している「外交に関する世論調査」で、国際社会で果たすべき日本の役割について聞いたところ、国際平和への努力や人道的支援が上位となっている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国自らが実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、国際連合等からの要請を受け実施するものであり、我が国が国際連合を中心とした国際平和の努力に積極的に寄与するため、重要な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	会計法等に基づき、競争による調達を原則としているが、結果として一者応札となった一般競争契約が1件あった。次回調達の際は、従前よりもわかりやすい仕様内容や公告期間を設けることで、より一層の競争性を確保できるよう努めてまいりたい。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	妥当性を欠いた執行は認められない。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	目的外となる執行は認められない。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	会計法等に基づき、競争による調達を原則としている。	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	我が国の国際平和協力業務等に対して国連、現地政府等から高い評価を得ている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	我が国が無償譲渡した物資は、南スーダンにおいて、既に政府間開発機構(IGAD)の活動に使用が開始されている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	<p>1. 物資の調達 備蓄5品目は、備蓄目標数を2万人分とし、物資調達は一般競争入札により実施。</p> <p>2. 備蓄(保管・管理) 物資協力を迅速に実施するため、中東・アフリカに近く、輸送網の発達しているドバイに物資を保管し、倉庫借上げ業者は一般競争入札により決定。</p> <p>3. 物資協力 令和元年度は、南スーダンで国際連携平和安全活動を行っている政府間開発機構(IGAD)からの要請を受け、海外倉庫(ドバイ)に備蓄している人道救援物資(テント、毛布、スリーピングマット、ビニールシート、給水容器)を無償で譲渡。</p> <p>4. 我が国が、国際平和のための努力に寄与するため、引き続き、効率化を進めつつ、適切に実施していく必要がある。</p>	
	改善の方向性	本事業については、引き続き適切に実施していく必要がある。また、国際機関からの要望やジェンダーバランスへの配慮等新たなニーズを踏まえ、備蓄物資の仕様の見直しや新たな品目の追加を検討する。	
外部有識者の所見			
レビューシートの備考欄によれば、備蓄品目、備蓄目標に関しては平成23年度に見直しとあるが、10年ほど経過しており、見直しの時期ではないか。			
行政事業レビュー推進チームの所見			
一部の改善内容	外部有識者の所見を踏まえ、備蓄品目、備蓄目標など事業の見直しが必要か検証すること。また、一者応礼となった要因を検証し、競争性が確保されるよう事業の実施に努めること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
年度内に改善を検討	国際情勢、国際機関からの要望やジェンダーバランスへの配慮等新たなニーズを踏まえ、備蓄目標、備蓄品目の見直し等の検討に努めてまいりたい。また、従来より公告期間を多めにとる等の対応を行ってきたが、それに加え、仕様内容の再検討等も行うことにより、一層の競争性を確保できるよう努めてまいりたい。		
備考			
<p>○公開プロセス 対象年度:平成22年度 レビューシート番号・事業名:157・人道救援物資備蓄経費 結果:大幅な改善を含め検討する。 とりまとめコメント: ・JICAや自治体や民間との連携などの見直しや倉庫をバーチャルにできないかなどを検討する必要 ・備蓄量に関しては海外との比較が必要 ・仕様を見直すなど、調達にあたっては、実質的競争の確保ができるよう、一層の工夫が必要 内閣府国際平和協力本部HP http://www.pko.go.jp/pko_j/operations/relief.html</p> <p>○公開プロセスに対する点検・改善結果 1. 物資の調達 備蓄品目については、平成22年度までの7品目を平成23年度から5品目に見直すとともに、備蓄目標についても平成22年度までの3万人分を平成23年度から2万人分に見直し。</p> <p>2. 備蓄(保管・管理) 平成23年度に国内倉庫を廃止し、海外倉庫に1本化するとともに、海外倉庫についても一般競争入札により委託先を決定。</p> <p>3. 備蓄物資の相互融通(自治体等との連携) 平成23年3月に発生した東日本大震災への対応として、緊急対策本部の要請を受け、国内倉庫(当時)に備蓄していた毛布1万枚、給水容器7千5百個、ビニールシート4千枚を、物品管理法に基づき内閣府政策統括官(防災担当)へ管理換を行なうことにより提供(平成22年度)。</p>			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0157	平成23年度	0164	平成24年度	0158	平成25年度	0112
平成26年度	0109	平成27年度	0118	平成28年度	0114	平成29年度	0118
平成30年度	0124						
平成31年度	内閣府 (0133)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

内閣府国際平和協力本部
 141百万円

(物資の調達、備蓄(保管・管理)、物資の輸送)

【随意契約(その他)等】

A. (株)近鉄エクスプレス
 126百万円

(人道救援物資の輸送)

【一般競争契約(最低価格)等】

B. 三井倉庫(株)
 他4社・名
 13百万円

(人道救援物資の保管管理等業務等)

【個人】

C. 個人 3名
 2百万円

(人道救援物資保管管理・製造検査業務調査等)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. (株)近鉄エクスプレス			B.三井倉庫(株)		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
物資輸送費	人道救援物資の輸送	126	物資備蓄管理費	人道救援物資等の管理料及び搬出入料等	13
計		126	計		13
C. 個人			D.		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
旅費	人道救援物資納品状況等検査等	1.2			
計		1.2	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)近鉄エクスプレス	3010001014251	人道救援物資の輸送	126	随意契約 (その他)	4	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三井倉庫株式会社	8010401114448	人道救援物資等の管理料及び搬出入料等	13	一般競争契約 (最低価格)	1	--	
2	個人B	-	予防接種費用(個人)	0	その他	-	--	
3	個人C	-	予防接種費用(個人)	0	その他	-	--	
4	(株)JALエービーシー	4010001110223	国際携帯電話等の借料	0	随意契約 (少額)	-	--	
5	個人A	-	予防接種費用(個人)	0	その他	-	--	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	旅費(個人)	1.2	その他	-	--	
2	個人B	-	旅費(個人)	0.4	その他	-	--	
3	個人C	-	旅費(個人)	0.4	その他	-	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	